



2016年3月期第2四半期 決算説明会資料

(2015年4月1日～2015年9月30日)

株式会社マンドム
(証券コード 4917)





目次

1. 2016年3月期第2四半期 連結業績概要
2. 連結売上高
3. 連結段階利益
4. 事業推進の概況
5. 2016年3月期 連結業績見通し

1. 2016年3月期第2四半期 連結業績概要

(単位：百万円)

	第 2 四 半 期					
	当期	前期	増減額	同期比	前期レート 換算比	計画比
売上高	41,941	38,452	3,488	109.1%	105.6%	100.2%
営業利益	5,354	5,240	113	102.2%	—	102.0%
経常利益	5,812	5,577	234	104.2%	—	110.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,015	3,386	2,628	177.6%	—	103.7%

2. 連結売上高

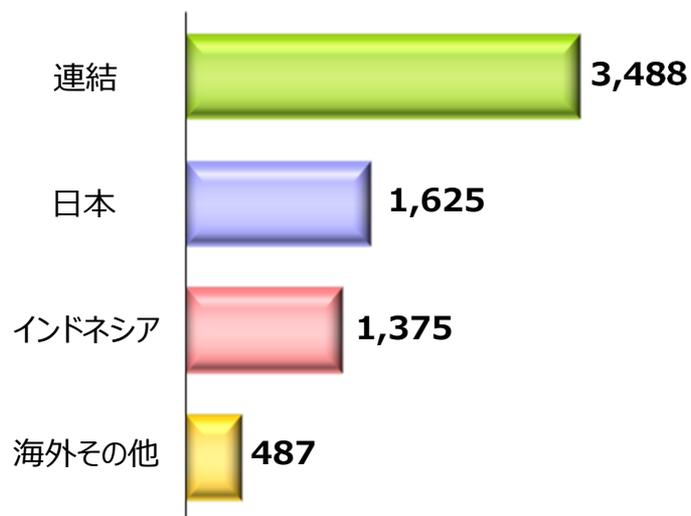
2-1.所在地別売上高

(単位：百万円)

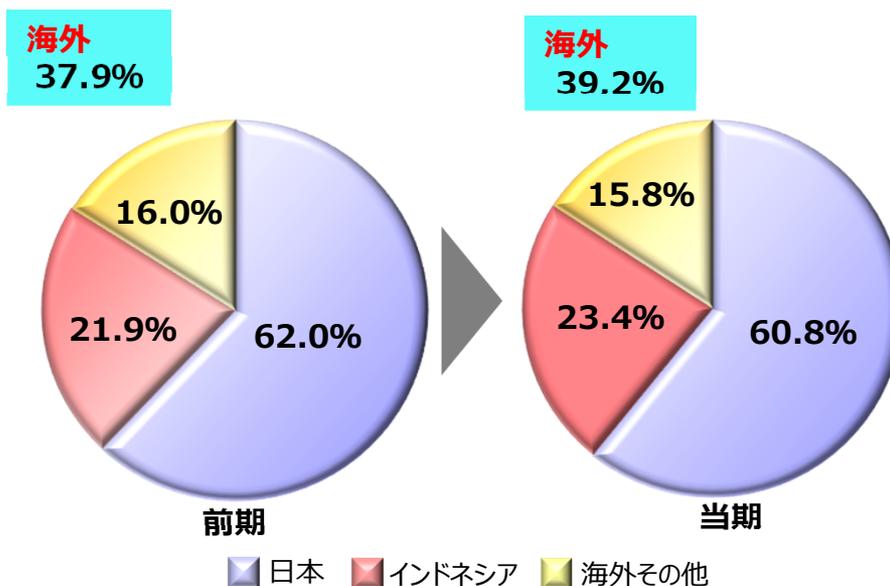
	第 2 四 半 期			
	当期	前期	増減額	同期比
売上高	41,941	38,452	3,488	109.1%
日本	25,479	23,854	1,625	106.8%
インドネシア	9,808	8,432	1,375	116.3%
海外その他	6,652	6,165	487	107.9%

2-2.所在地別売上高 同期増減額内訳

(単位：百万円)



2-3.所在地別売上高 同期構成比推移



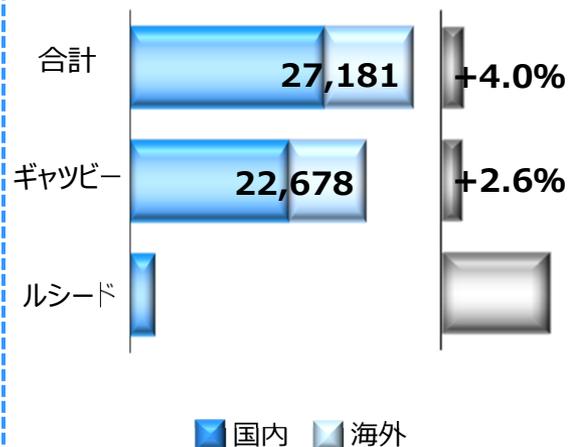
2. 連結売上高

2-4. 事業別売上高

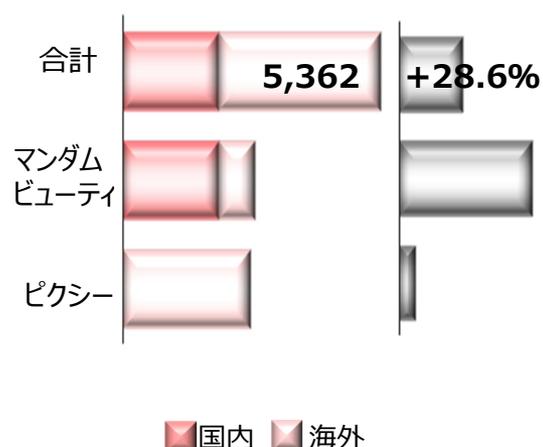
(単位：百万円)

	第 2 四 半 期			
	当期	前期	増減額	同期比
売上高	41,941	38,452	3,488	109.1%
男性グルーミング事業	27,181	26,145	1,036	104.0%
ギャツビー	22,678	22,107	571	102.6%
女性コスメティック事業	5,362	4,170	1,191	128.6%
女性コスメタリー事業	4,792	4,133	658	115.9%
その他事業	4,605	4,002	602	115.0%

男性グルーミング事業



女性コスメティック事業



女性コスメタリー事業



3. 連結段階利益

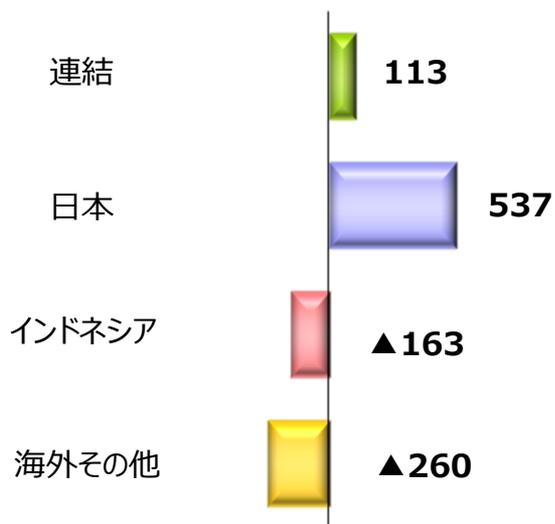
3-1. 所在地別営業利益

(単位：百万円)

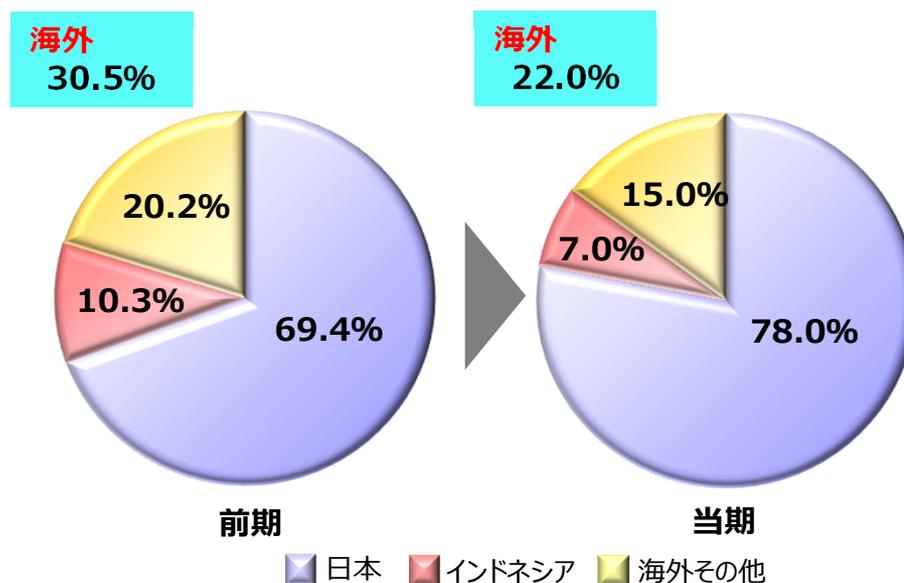
	第 2 四 半 期					
	当期		前期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業利益	5,354	12.8%	5,240	13.6%	113	102.2%
日本	4,177	16.4%	3,639	15.3%	537	114.8%
インドネシア	377	3.8%	540	6.4%	▲ 163	69.8%
海外その他	800	12.0%	1,060	17.2%	▲ 260	75.4%

3-2. 所在地別営業利益 同期増減額内訳

(単位：百万円)



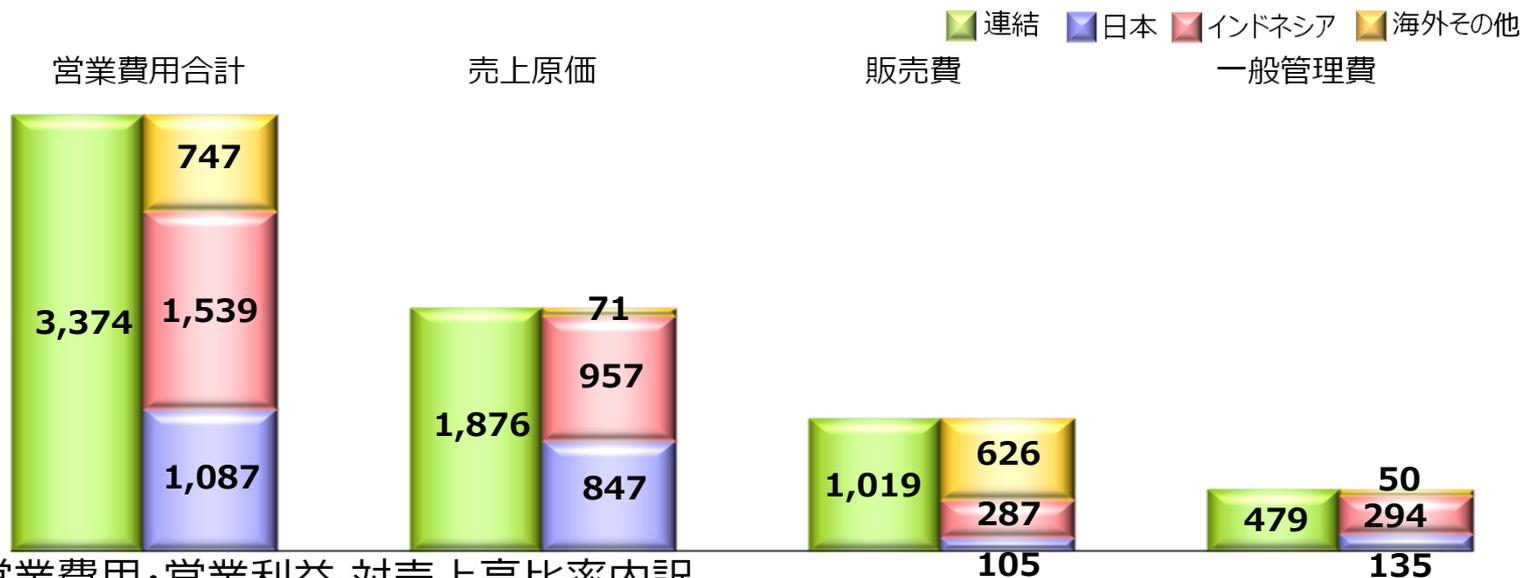
3-3. 所在地別営業利益 同期構成比推移



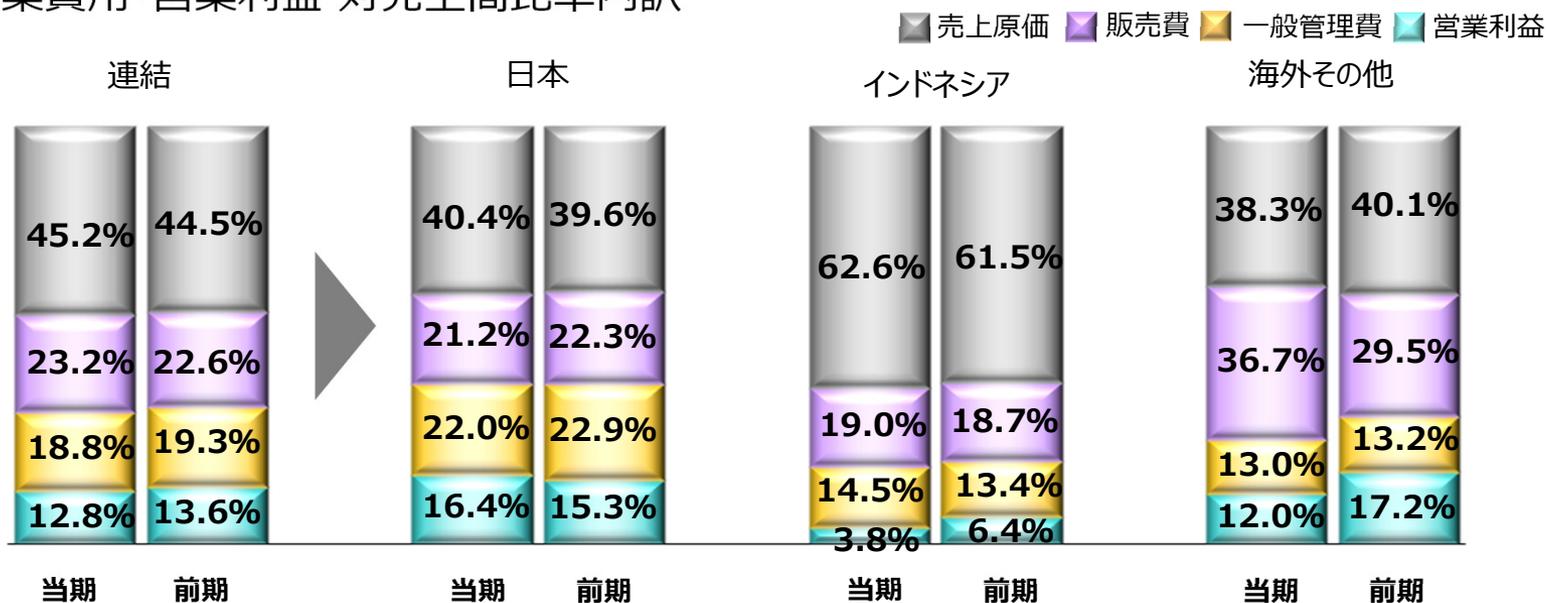
3. 連結段階利益

3-4. 営業費用実績 同期増減額内訳

(単位：百万円)



3-5. 営業費用・営業利益 対売上高比率内訳



3. 連結段階利益

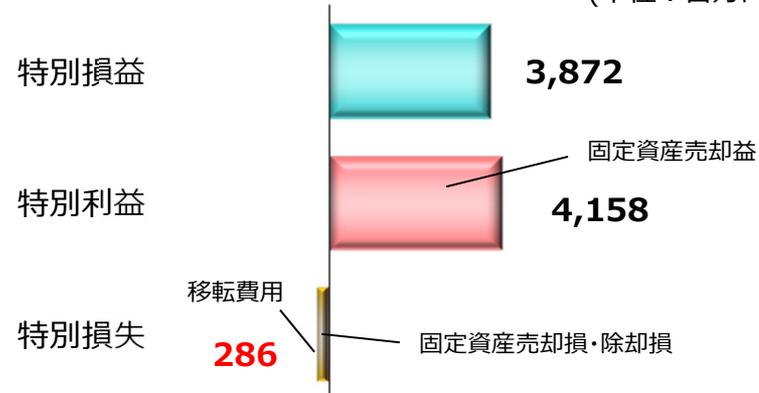
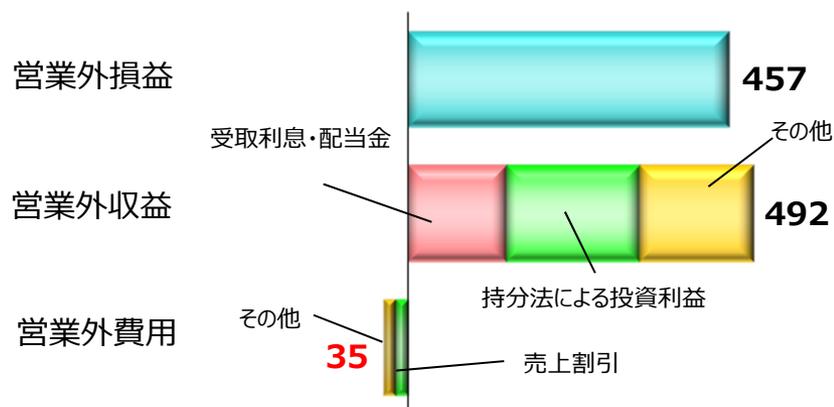
3-6. 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)

	第 2 四 半 期					
	当期		前期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業外損益	457	1.1%	336	0.9%	120	135.9%
経常利益	5,812	13.9%	5,577	14.5%	234	104.2%
特別損益	3,872	9.2%	▲ 5	▲0.0%	3,878	▲64565.8%
税引前純利益	9,684	23.1%	5,571	14.5%	4,112	173.8%
法人税等	1,837	4.4%	1,879	4.9%	▲ 42	97.8%
当期純利益	7,847	18.7%	3,692	9.6%	4,155	212.5%
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,832	4.4%	305	0.8%	1,526	599.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,015	14.3%	3,386	8.8%	2,628	177.6%

3-7. 営業外損益・特別損益内訳

(単位：百万円)



4. 事業推進の概況

日本

売上高事業別構成比



※マンダム算出市場データ

男性グルーミング事業

GATSBY

【スタイリング】

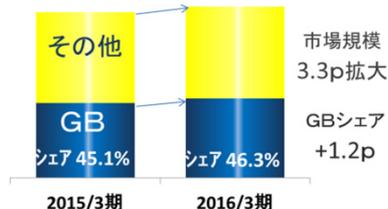
スタイリング市場において、10代男性の素髪感ウォンツに対応した「ヘアジャム」は堅調に推移。

あらたに「ツヤ感・まとまり」を重視したトレンドスタイルに対応した「スタイリンググリース」を新提案。



“ネオクラシカルヘア”に対応した新製品「スタイリンググリース」

男性ヘアスタイリング剤市場推移（4-9月）※

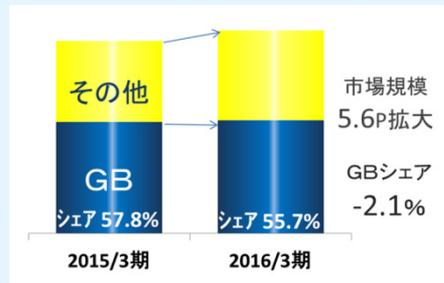


■男性ヘアスタイリング市場におけるマンダム全体シェアは、63.1%

【フェイス&ボディ】

フェイシャルペーパーはシーズン当初の天候不順により、伸び悩んだものの、ボディペーパーは順調に売上を拡大。更に、秋冬期の使用を提案する「マイルドボディペーパー」を新発売。一年を通しての需要拡大を図っていく。

男性夏シーズン品市場推移（4-9月）※



LÚCIDO

ルシードブランドは全体として、堅調に推移。ニオイケアシリーズは「40才からのニオイ対策」商品としてリニューアル。新CMを9月から放映し強化中。

女性コスメティック事業

Mandom Beauty

好調なビフェスタブランドは、インバスタップの「つる落ち」シリーズを発売し、商品領域の拡大を図る。

インバウンド需要の影響により、バリアリペアのフェイスマスクが前年対比で約5倍に拡大。



バリアリペア シートマスク

女性コスメタリー事業

ルシードエルのトリートメント剤が好調。中でもオイルトリートメントシリーズは@cosmeサイトで口コミNo. 1に。

マンダムでは、ディズニーシリーズのボディシートが引き続き好調。8月には、ディアフローラのオイルインボディクリームを発売。



オイルトリートメントシリーズ

4. 事業推進の概況

インドネシア

売上高事業別構成比



男性グルーミング事業

GATSBY

【スタイリング】

主力であるウォーターグロス、ワックスとも前年対比で2ケタ以上の伸長。中でも、昨年発売したスタイリングポマードが新たなヘアスタイルのトレンドをとらえて非常に好調な推移。



スタイリングポマード

【フェイス&ボディ】

フェイス、ボディともに順調に伸長。特に、ボディケアカテゴリーのアーバンコロンが今年に入っても、引き続き好調。



「アーバンコロン」シリーズ

女性コスメティック事業



デコラティブ（メイクアップ）シリーズは好調だったものの、主力であるツーウェイケーキ、競合の攻勢もあり苦戦。下期は、ツーウェイケーキ競争力アップのための、新キャンペーンやTVCMを投下し再強化を図る。



PIXY メイクアップセミナー風景

女性コスメタリー事業



市場での競争が激化しているが、新シリーズ「Pink Me」は評価も高く、今後の動向に期待。



「Pink Me」シリーズ店頭イベント



LÚCIDO-L

下期発売予定の新製品の早期配下し、拡売を目指す。

4. 事業推進の概況

海外その他

売上高事業別構成比



中国

ギャツビースタイリング、ボディケアが順調に伸長。

ビフェスタも非常に好調。現在は上海を始めとした沿海部での展開だが、将来の全国展開を視野に入れ、販売ノウハウの蓄積をすべく、販促ツールによる店頭プロモーションの強化、店頭での多面展開、担当者教育等の強化を図る。



マンダム中国のWEB広告



ビフェスタ店頭プロモーション強化

タイ



ギャツビームービングラバーは、現地人気タレント マリオ氏をブランドアンバサダーに起用したTVCMを作成し、現地での浸透を図る。

ビフェスタは、競争環境が激化してきているため、店頭での販促施策を積極的に実施。

インドシナ

インドシナエリアにおいて、特に有望視しているベトナムに、今年1月、当社海外グループ12社目となる『Mandom Vietnam Company Limited』を設立。年内の本格的営業活動開始を予定。

5. 2016年3月期 連結業績見通し

(単位：百万円)

	上期実績			下期見通				通期見通		
	実績	計画	乖離額	修正見通	当初計画	乖離額	同期比	修正見通	当初計画	乖離額
売上高	41,941	41,840	101	31,258	34,520	▲3,261	96.3%	73,200	76,360	▲3,160
営業利益	5,354	5,250	104	▲354	2,110	▲2,464	-20.2%	5,000	7,360	▲2,360
経常利益	5,812	5,250	562	▲12	2,350	▲2,362	-0.6%	5,800	7,600	▲1,800
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,015	5,800	215	▲415	1,320	▲1,735	-40.0%	5,600	7,120	▲1,520

下期見通し下ブレの与件と取組事項

下期与件

- 売上**
- －) マンダムインドネシア火災事故による売上減
 - －) インドネシア市場環境悪化の影響による売上減
 - －) 現地通貨安による円換算額の減少
- 利益**
- －) インドネシア減収による減益
 - －) インドネシア生産量減少による原価の上昇
 - －) インドネシア事故に係わる特別損失の計上(約15億円)

取組事項

- 日本** 効果性を考慮した、効率的なマーケティング費用の投下による着実な市場強化
- インドネシア** 女性コスメティック中心ブランド「PIXY」再強化のための集中的マーケティング強化
- 海外その他** 引き続き、各国での今後の成長加速に向けたマーケティング費用の積極的投下